

令和 6 年度 栃木県こどもモニター
第 2 回アンケート結果
(小学生)

調査実施の概要

1. 栃木県こどもモニターってなに

栃木県は、こどもに関する施策を考えて実現するため、こどもや若者、保護者の意見やアイデアを継続的に集め、政策に取り入れることを目的として「栃木県こどもモニター」を募集します。

モニターのみなさんには、栃木県についてのアンケートから意見を収集し、これからの栃木県の施策やルール作りにつなげていきます。

もっと暮らしやすい栃木県になるように、いっしょに考えよう！

2. 第2回アンケート期間

令和6年8月21日（水曜日）から9月20日（金曜日）

3. アンケート方法

アンケート対象者にメールで回答 URL を送付、WEB サイトを通じてアンケートに回答。

4. モニター数

395名

5. 第2回アンケート回答者数

355名

6. 第2回アンケート回答率

89.9%

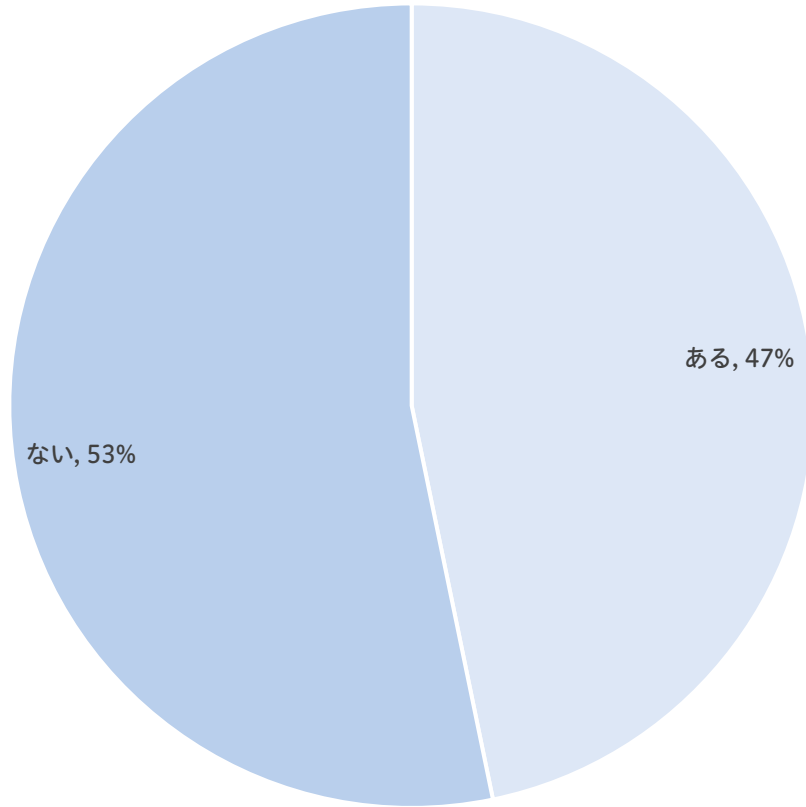
※「その他」を選択した場合の自由記述欄は原文のまま掲載しています。

性別	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
男子	185	167	47.0%	90.3%
女子	208	186	52.4%	89.4%
答えたくない	2	2	0.6%	100.0%
合計	395	355	-	89.9%

学年	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
小学1年生	65	59	16.6%	90.8%
小学2年生	73	65	18.3%	89.0%
小学3年生	67	61	17.2%	91.0%
小学4年生	75	71	20.0%	94.7%
小学5年生	67	56	15.8%	83.6%
小学6年生	48	43	12.1%	89.6%
合計	395	355	-	89.9%

※ 集計結果は百分率(%)で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したものになります。
そのため、合計が100%にならないものがあります。

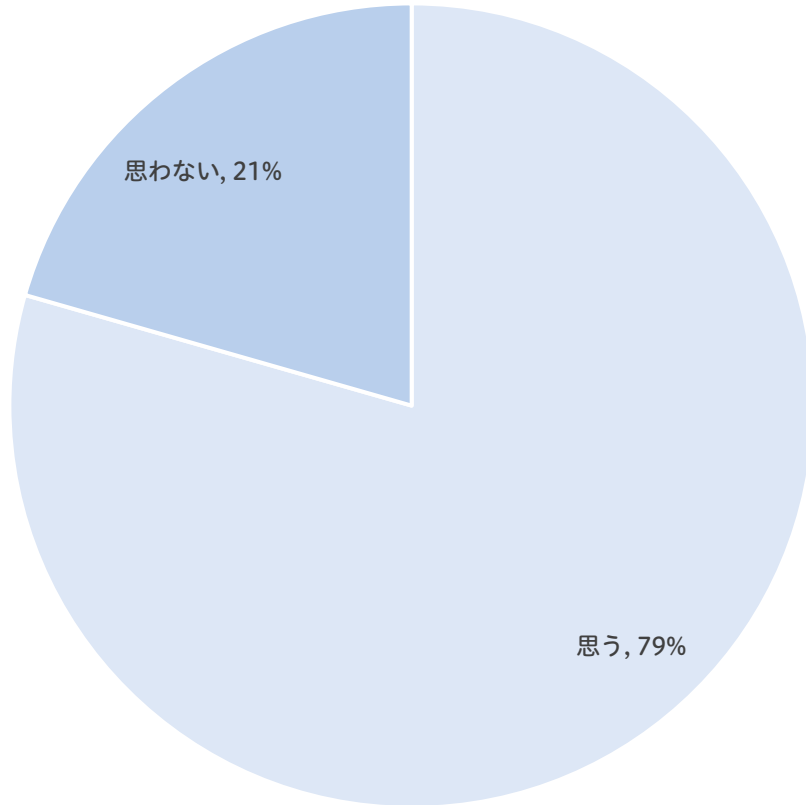
Q1.河川や池、湖での釣りをしたことがありますか。



【調査結果の概要】

「ない」(53%)が「ある」(47%)と答えた人よりわずかに多くなっている。

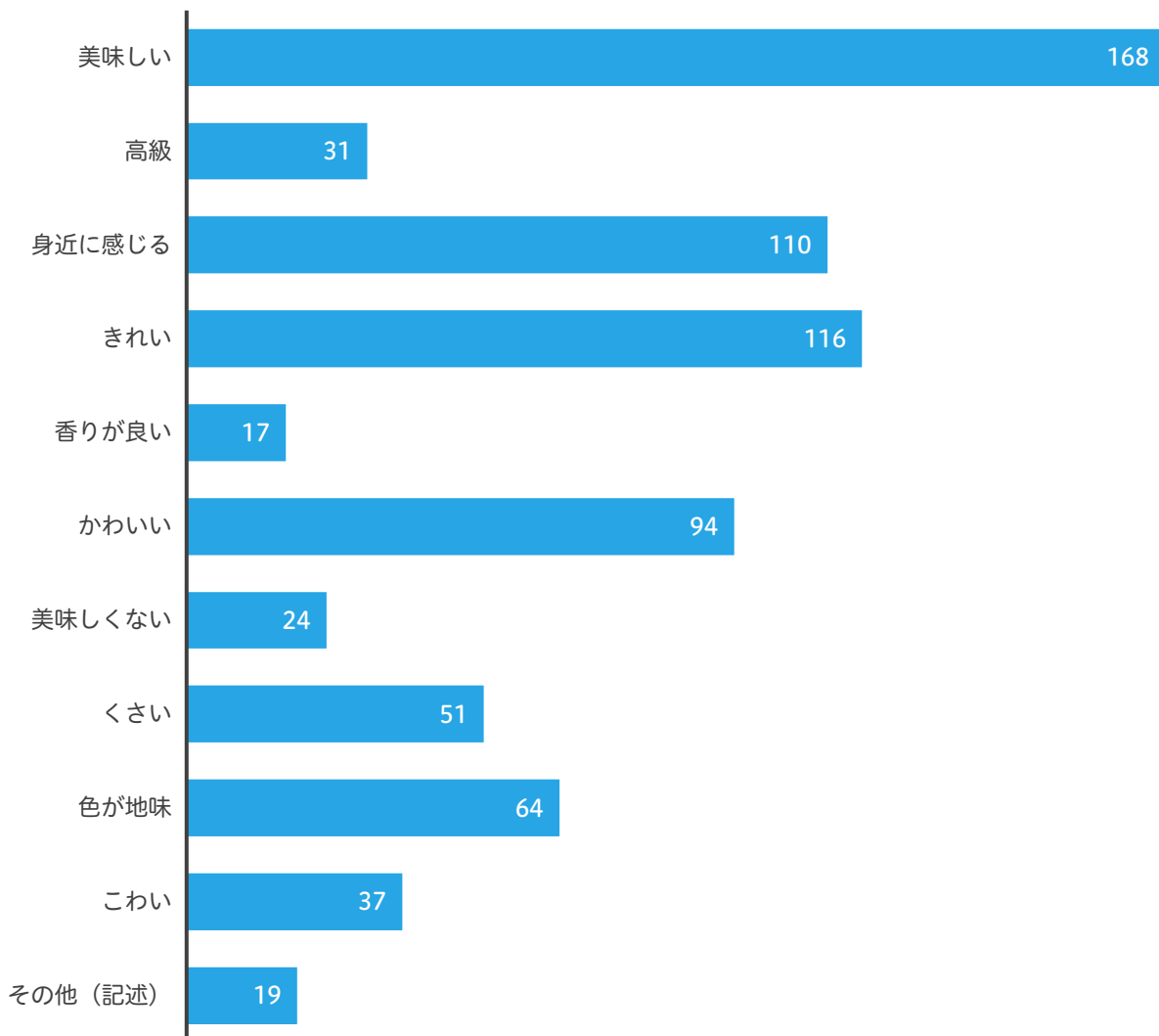
Q2.河川や池、湖での釣りをしてみたいと思いますか。



【調査結果の概要】

「思う」(79%)と、約80%の人は、河川や池、湖で釣りをしてみたいと思っている。

Q3.あなたの淡水魚に対するイメージを教えてください。【3つまで選んでください】



【調査結果の概要】

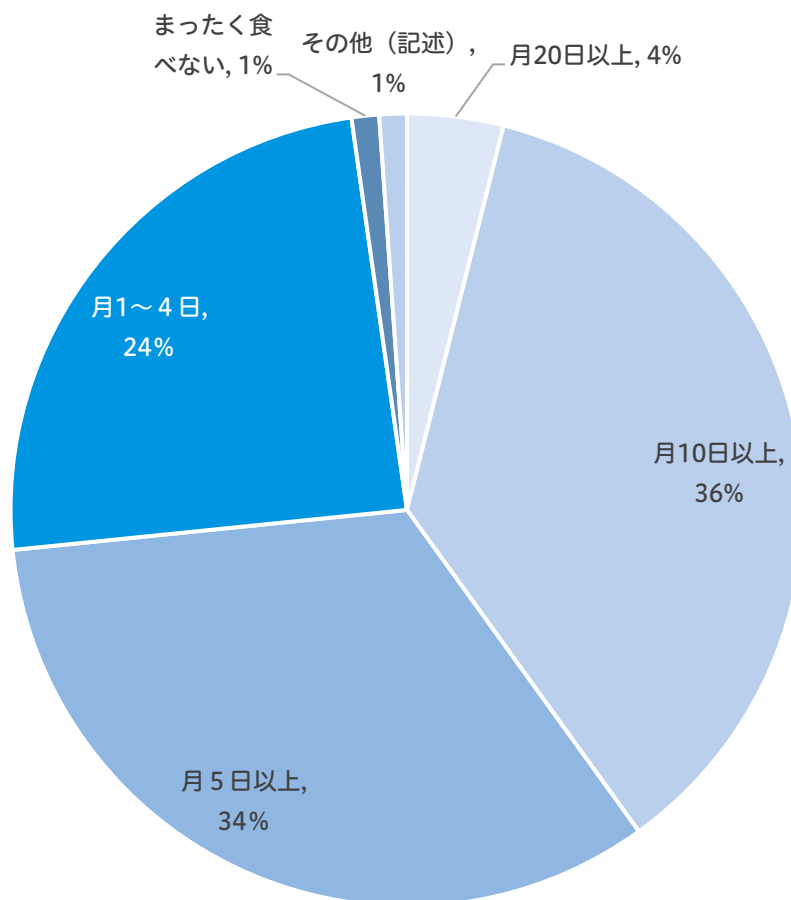
「美味しい」(168件)が最も多く、以下、「きれい」(116件)、「身近に感じる」(110件)などと続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 小さくてかわいいけれど、少しきたなそう
- ・ 色が暗い
- ・ 変な生き物がいる
- ・ ぬるぬる
- ・ かわいそう（食べるのが）
- ・ 最高
- ・ すばしっこい泳ぎがはやい水の中でも生きられる
- ・ うろこがきれいじゃない
- ・ かわいくないきばがするどいかまれそう

- カッコいい
- わからない、興味がないなど 8件

Q4.魚を月に何回食べますか。



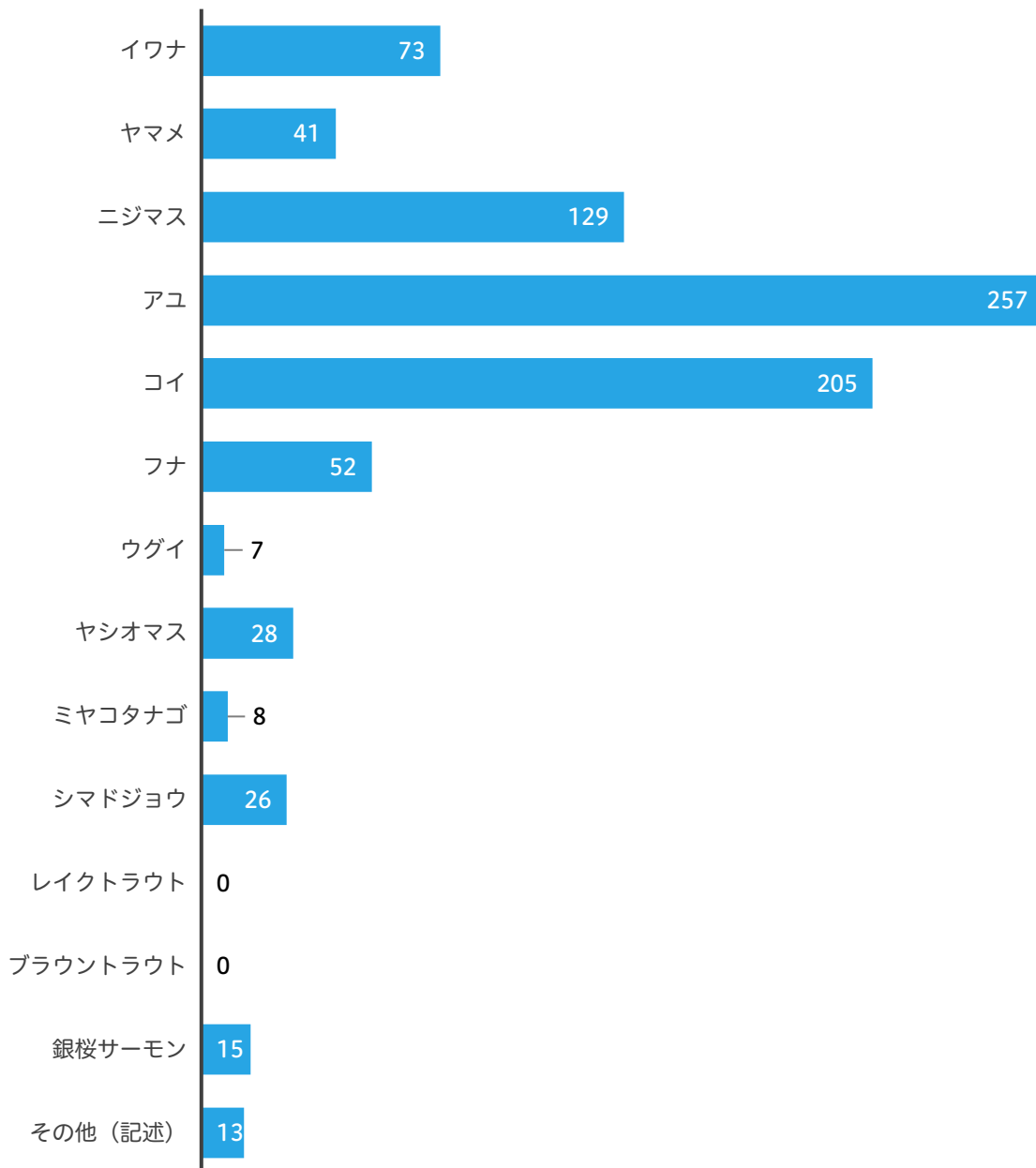
【調査結果の概要】

「月に10日以上」(36%)が最も多く、以下、「月5日以上」(34%)、「月1~4日」(24%)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 週に1回ぐらい。
- ・ わからない
- ・ その月による
- ・ 食べられない。

Q5.河川や池、湖の魚の中で身近に感じる魚はどれですか。【3つまで選んでください】



【調査結果の概要】

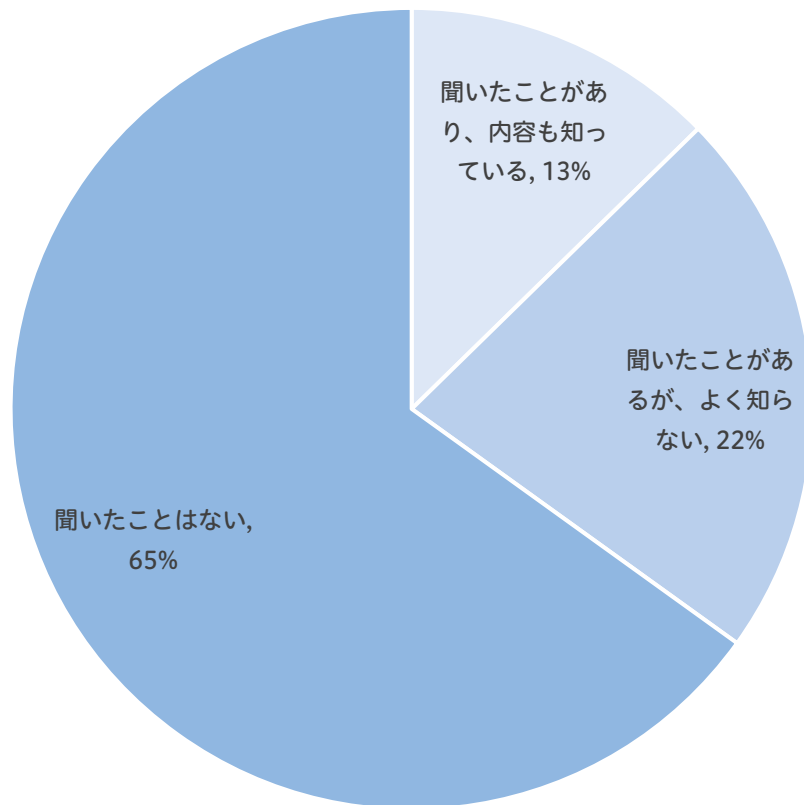
「アユ」(257件)が最も多く、以下、「コイ」(205件)、「ニジマス」(129件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ クチボソ
- ・ ピラルク
- ・ メダカ
- ・ メダカ、金魚

- ・ ウナギ、メダカ、ナマズ
- ・ カジカ
- ・ 金色のコイニシキゴイコイ
- ・ さけ
- ・ こい
- ・ ナマズ 2件
- ・ わからないなど 2件

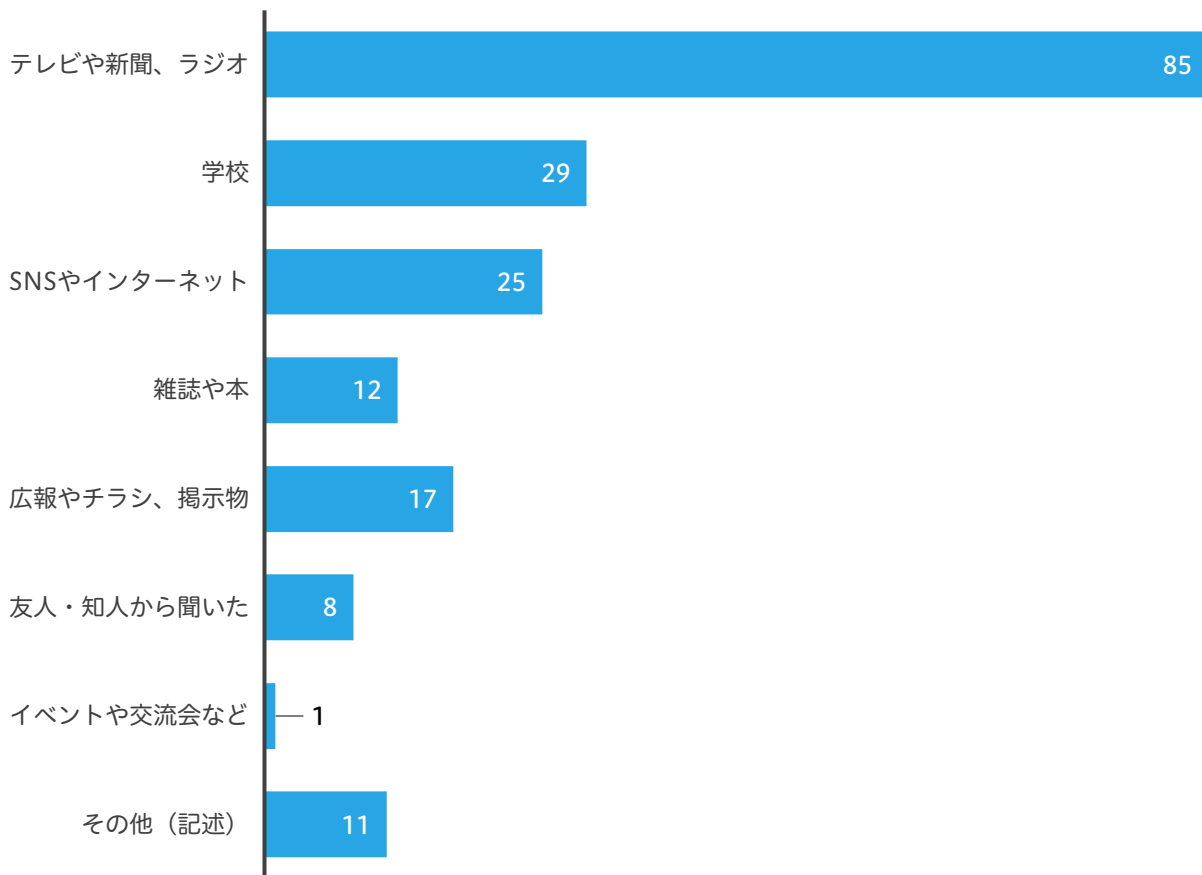
Q6. 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。



【調査結果の概要】

「聞いたことはない」(65%)が最も多く、以下、「聞いたことがあるが、よく知らない」(22%)、「聞いたことがあり、内容も知っている」(13%)と続いている。

Q7.「Q6」で、「聞いたことがあり、内容も知っている」「聞いたことがあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

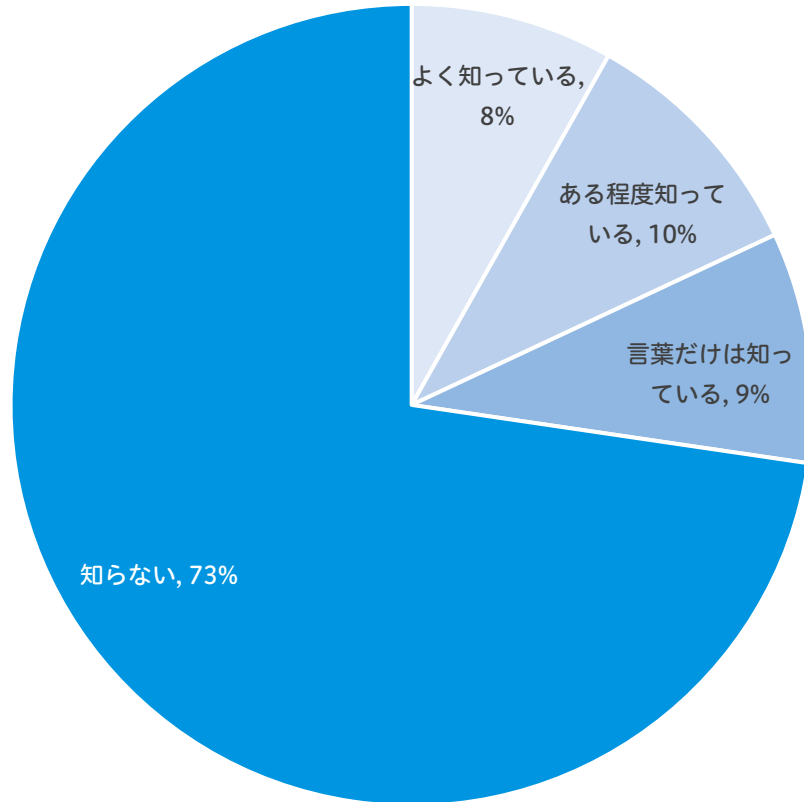
「テレビや新聞、ラジオ」（85件）が最も多く、以下、「学校」（29件）、「SNSやインターネット」（25件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ どこで聞いたかわからないけど、どこかで聞いた事がある。
- ・ 作業療法士さん
- ・ ユーチューブ
- ・ なんとなく
- ・ 家族から聞いたなど 7件

Q8.市販薬のオーバードーズ（過剰摂取）を知っていますか。

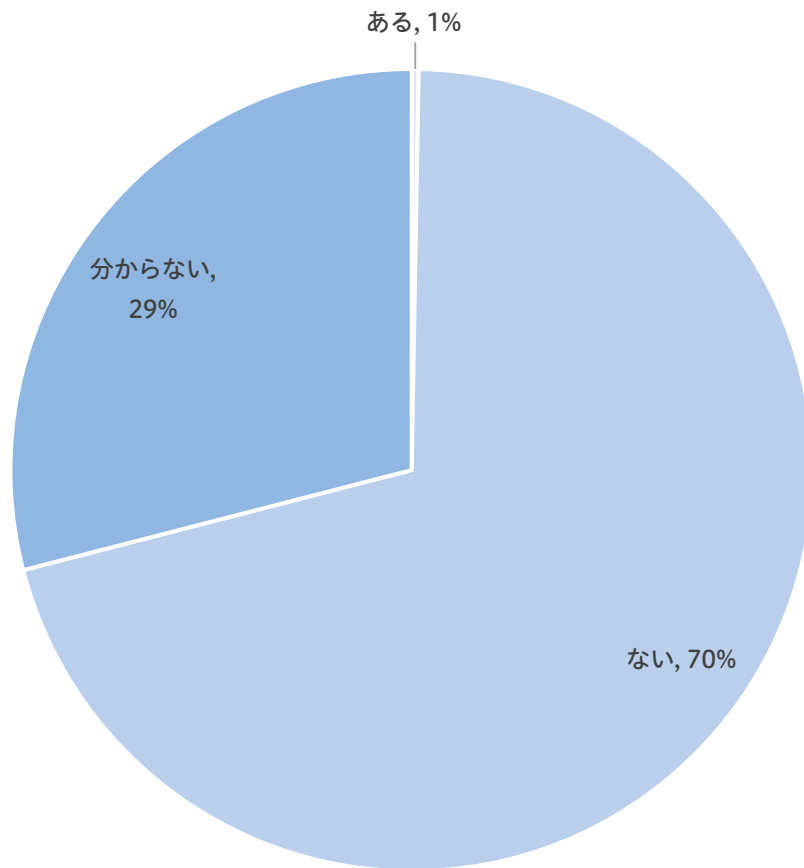
※市販薬：薬局やドラッグストアで購入できるかぜ薬やせき止め薬など



【調査結果の概要】

「知らない」(73%)が最も多く、以下、「ある程度知っている」(10%)、「言葉だけは知っている」(9%)と続いている。

Q9.つらい気持ちや、嫌なことがあったり、なんだかもやもやしている時に、市販薬のオーバードーズ（過剰摂取）をしたいと思ったことはありますか。

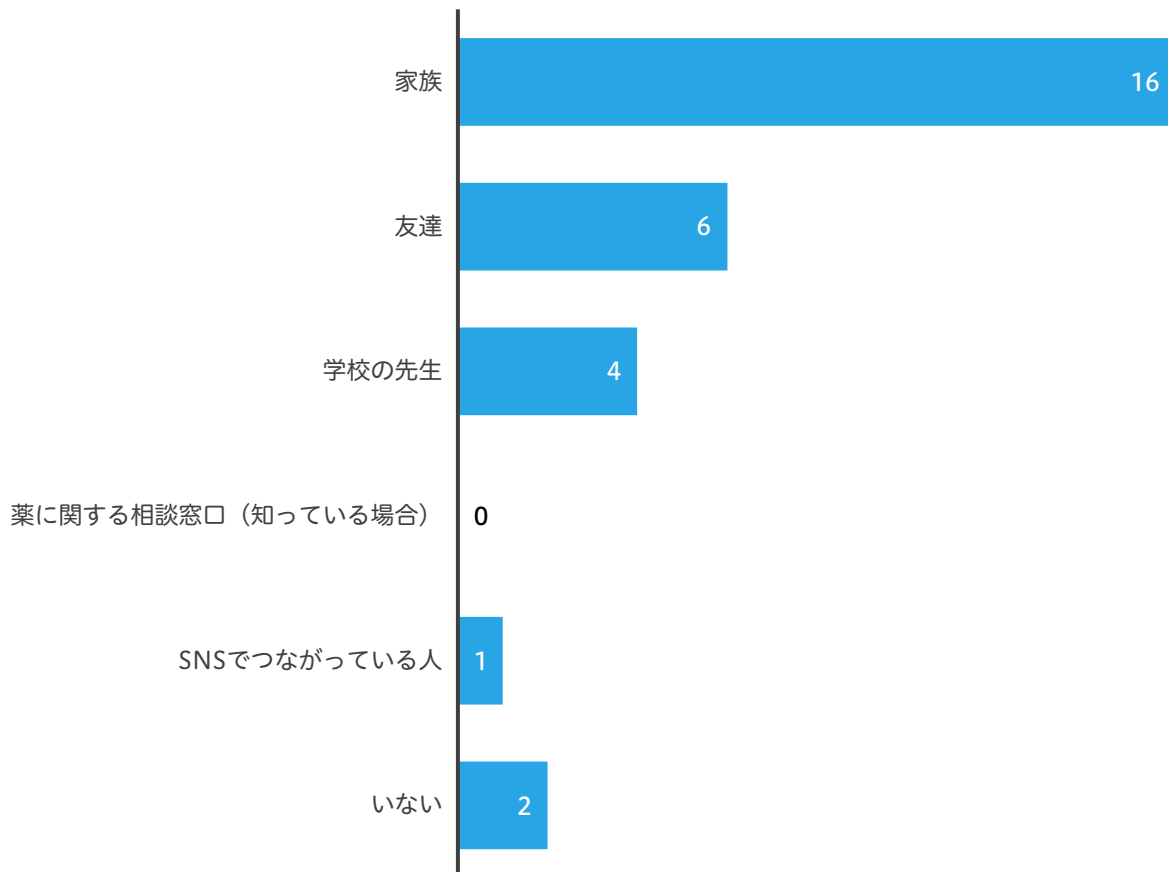


【調査結果の概要】

「ない」(70%)が最も多く、以下、「分からない」(29%)、「ある」(1%)と続いている。

Q10. 「Q9」で、「ある」と回答した方にお聞きします。市販薬のオーバードーズ（過剰摂取）をしたいと思った時に、あなたが相談できる相手を選んでください。【3つまで選んでください】

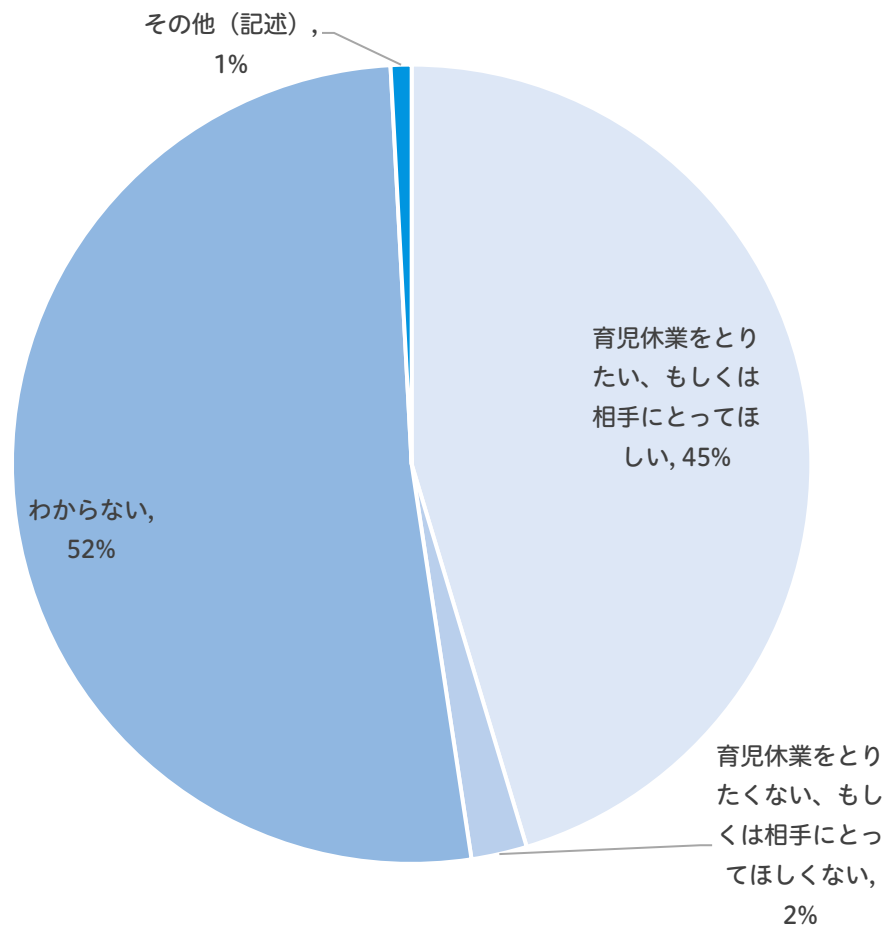
※市販薬：薬局やドラッグストアで購入できるかぜ薬やせき止め薬など



【調査結果の概要】

「家族」（16件）が最も多く、以下、「友達」（6件）、「学校の先生」（4件）と続いている。

Q11.将来自分に子どもができたとき、男性（自分もしくは結婚相手（パートナー））が仕事を休んで育児をすること（育児休業の取得）について、今の考えに近いものはどれですか。



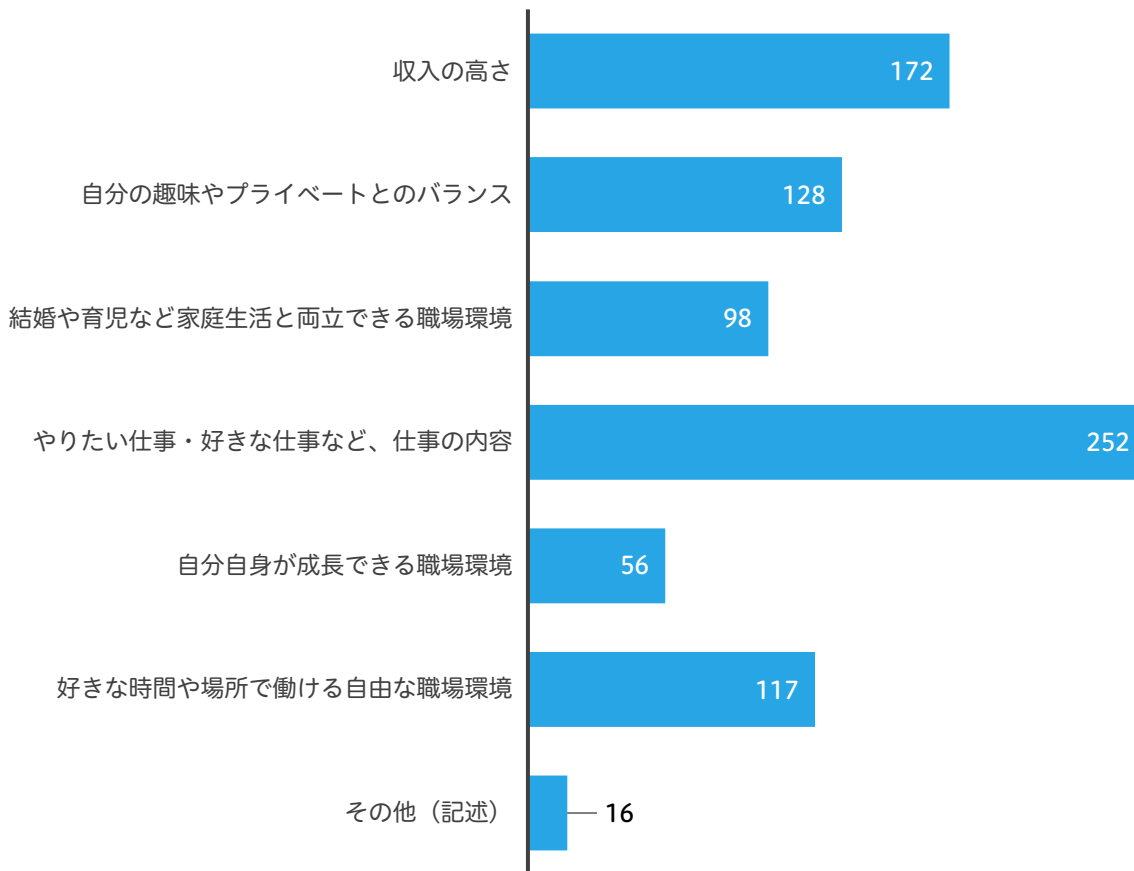
【調査結果の概要】

「わからない」(52%)が最も多く、以下、「育児休業をとりたい、もしくは相手にとってほしい」(45%)、「育児休業をとりたくない、もしくは相手にとってほしくない」(2%)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 子どもと自分だけの方が気楽にゆっくり過ごせそうなので。
- ・ 育児は大変だから結婚相手を、大変な思いにさせたくない。
- ・ 何日かは休んでもらいたい。
- ・ 休んでいる間のお金の心配があるので、わからない。

Q12.仕事を選ぶうえで大切にしたいものはなんですか。【3つまで選んでください】



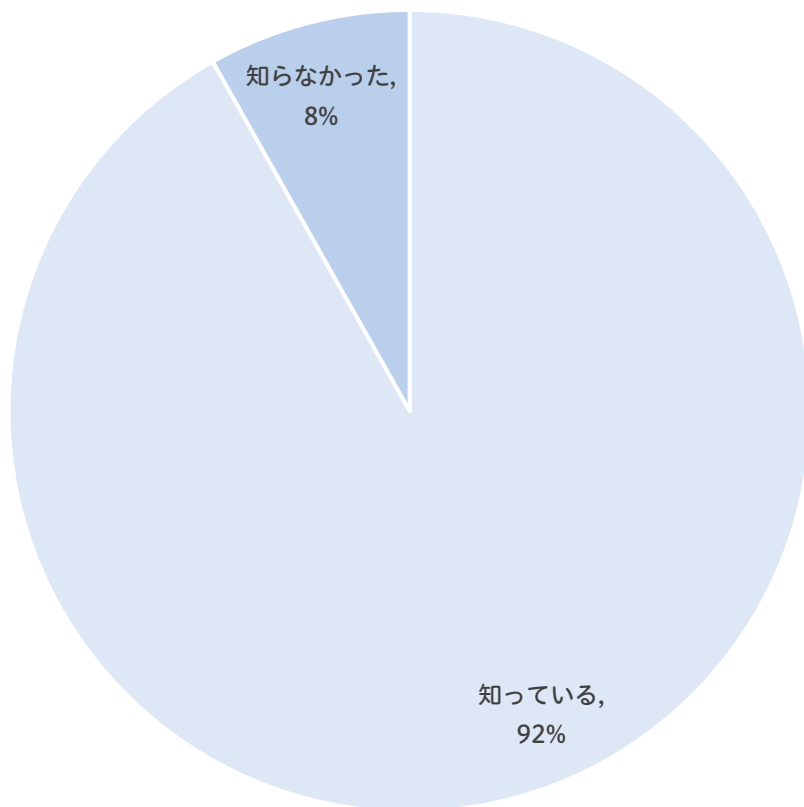
【調査結果の概要】

「やりたい仕事・好きな仕事など、仕事の内容」(252件)が最も多く、以下、「収入の高さ」(172件)、「自分の趣味やプライベートとのバランス」(128件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ コミュニケーションでもはたらける
- ・ こまっている人のやくにたつことをしたい
- ・ 未来を明るくしたい
- ・ 簡単そう
- ・ やりたいことをやる
- ・ 憧れられる仕事
- ・ プロ選手になる 2件
- ・ わからない 8件

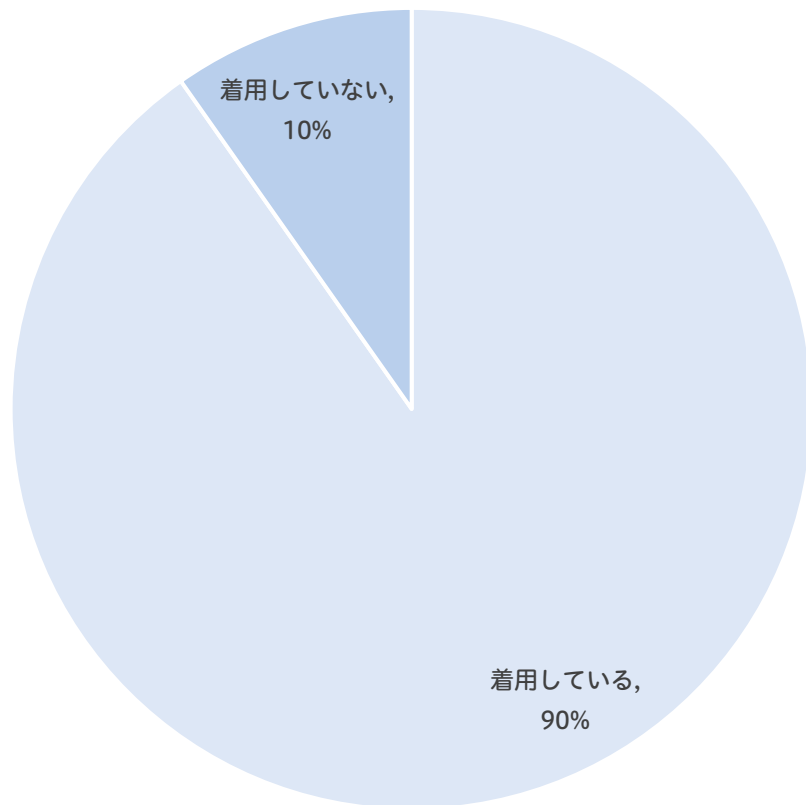
Q13.道路交通法や栃木県の条例で自転車を運転する場合は、ヘルメット着用を努めるよう規定されていることは知っていますか。



【調査結果の概要】

「知っている」(92%)と、ヘルメット着用を努めるよう規定されていることを知っている人は、90%を超えている。

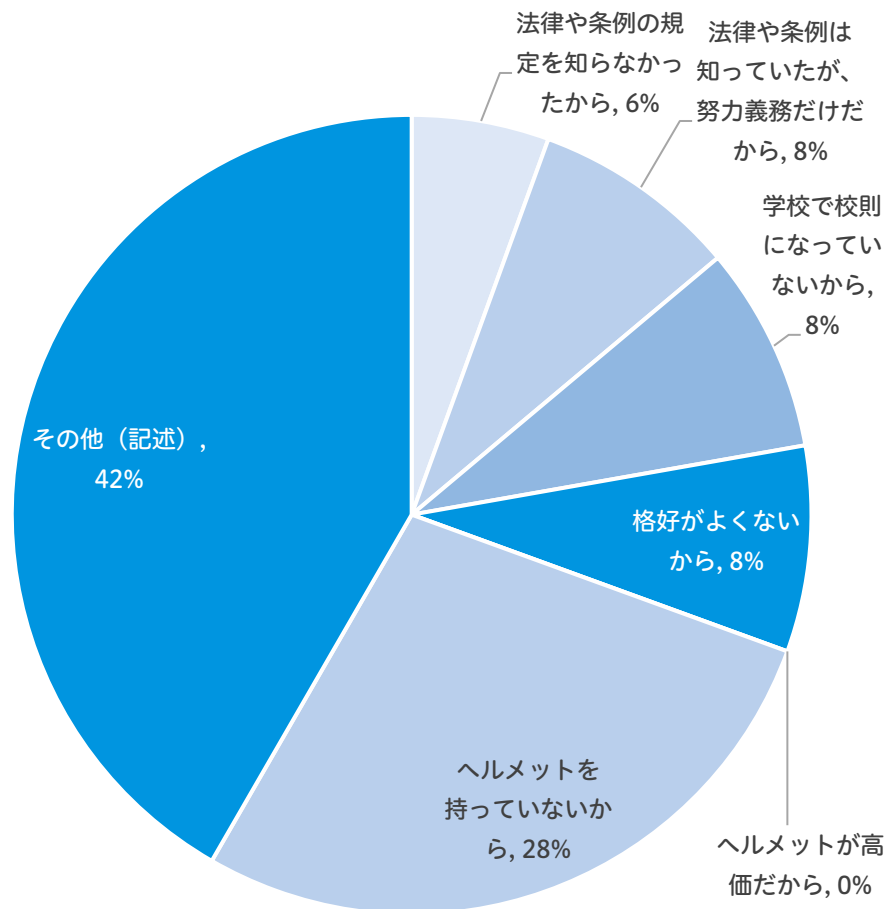
Q14.自転車を利用している方に質問です。自転車に乗るときにヘルメットを着用していますか。



【調査結果の概要】

「着用している」(90%)、「着用していない」(10%)と、着用している人がはるかに多い。

Q15.「Q14」で「着用していない」と回答した方に質問です。ヘルメットを着用しない理由は何ですか。



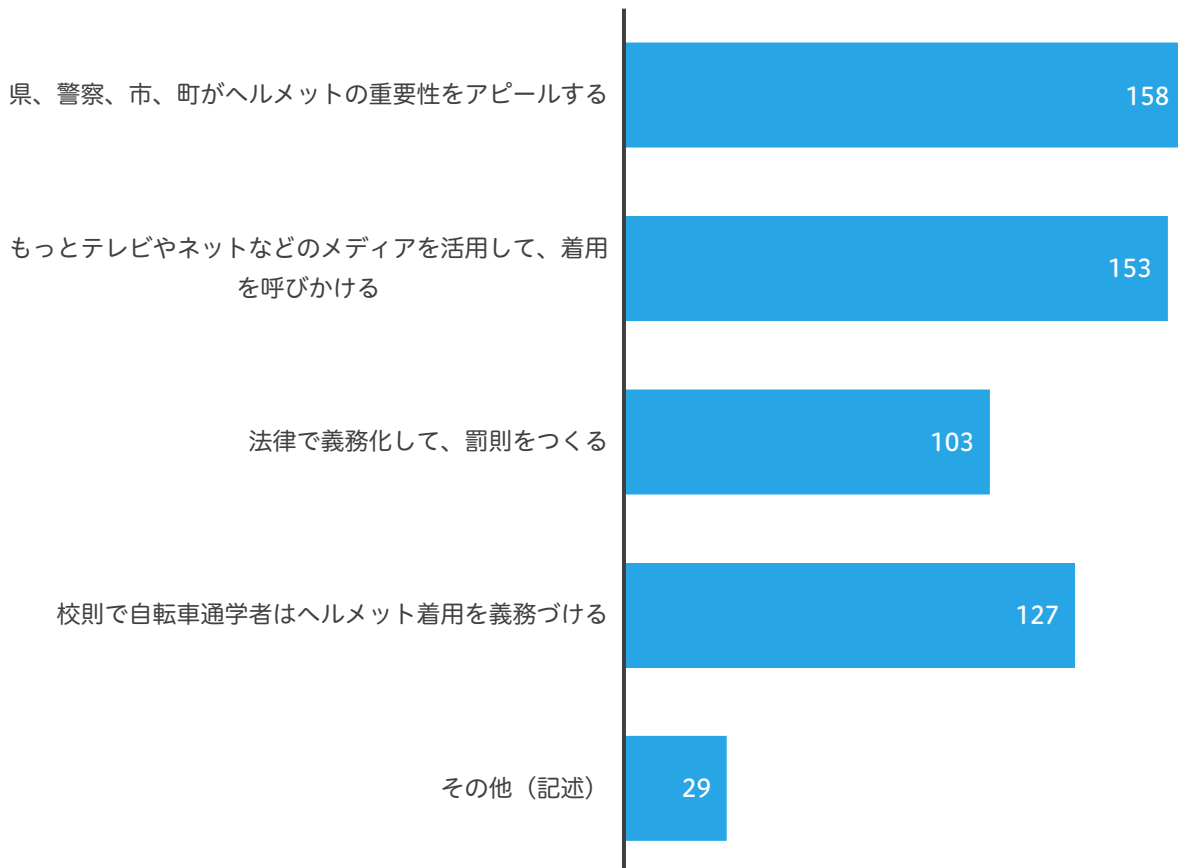
【調査結果の概要】

「ヘルメットを持っていないから」(28%)が最も多く、「格好がよくないから」(8%)、「学校で校則になっていないから」(8%)、「法律や条例は知っていたが、努力義務だけだから」(8%)と続いている。

【その他の自由記述】

- つけるとあつい、はずしたくなる。
- 忘れちゃう
- かぶると頭が痛いから
- お家の周りでしか乗らないから
- 忘れてしまう
- ヘルメットの重要性が分からない
- 頭が痛くなる
- 面倒くさいから
- 自転車に乗らない、まだ乗れないなど 7件

Q16.現在、栃木県の自転車ヘルメット着用率は高いものではありません。そこで、どうすれば、自転車に乗る人のヘルメット着用率が上がると思いますか。【2つまで選んでください】



【調査結果の概要】

「県、警察、市、町、がヘルメットの重要性をアピールする」（158件）が最も多く、以下、「もっとテレビやネットなどのメディアを活用して、着用を呼びかける」（153件）、「校則で自転車通学者はヘルメット着用を義務づける」（127件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ ヘルメットがいっぱいあって皆がわーいってなるお祭りがある
- ・ ほかのヘルメットじゃなくて、ちゃんと自転車用のヘルメットをかぶらないと注意されるようになってほしい。
- ・ ヘルメットを買うお金をもらう
- ・ 学校などでアピールをする。
- ・ 学校でヘルメットの大切さを教える。
- ・ 学校で教える。
- ・ 大人から被る
- ・ 交流会などで教える。
- ・ 大人や高校生はほとんどヘルメットをしていないので、学校で制服と同じように指定のヘルメットを買うようにする。大人はスーパーでお買い物ポイントをためてもらえるようにすれば着用する人が増えると思う。

- ・ 前に、学校でヘルメットの実験を見せてもらい、重要なのがわかったので、実験映像を作製して、みんなに見てもらうのがいいと思う。
- ・ 子どもにも分かりやすいポスターがあるとよい
- ・ おまわりさんがちゅういする
- ・ かぶっていても熱くない、かっこいいヘルメットを作る。
- ・ ヘルメットかうとおかねがもどるとかうひともふえとおもいます
- ・ 車が横断歩道止まらなくても違反にならないしほうちされている
- ・ 学校の授業でやる
- ・ 小山市のようにヘルメットの助成金を出す
- ・ ポスター
- ・ 電柱とかにポスターをはる
- ・ 自分でやりたいから
- ・ ヘルメットを可愛くする。
- ・ つけたらお金が、貰える
- ・ そこまでヘルメット着用について拘らなくていいと思う。もしくは事故が起こってしまうなら怒る前に自転車運転の安全性についても栃木県として考えに加味してもらい。
- ・ きちんと着用できていることが確認できれば、ポイントをつける。貯まったら、生活の中で何か購入できる。など
- ・ 配る、プレゼントするなど 4件
- ・ わからないなど 2件